

【報告事項】（１）令和７年度 事業計画と主要行事予定表

事業方針

令和6年度は新型コロナウイルス感染拡大前の日常生活や経済活動に戻り、当協会の事業活動も定時社員総会後の交流会や各種講習会、セミナーが実施できるなど平年ベースの活動ができた。

さて、世界では国連気候変動枠組条約第29回締約国会議（COP29）が、アゼルバイジャンの首都バクーにて、2024年11月11日から24日まで開催され、パリ協定の実施施策や追加ルールが議論された。主要な議題である「資金」については、難航した交渉の末に、途上国向けの資金として「2035年までに年間3000億ドル」へと増やしていくことで合意された。しかし、この金額は、地球の平均気温上昇を産業革命前と比べて1.5度の上昇に抑えることのための脱炭素化、特に気候変動の影響を受ける国々への支援という観点からは不十分な目標となってしまった。

一方、世界情勢では、去年は世界各地で「選挙イヤー」となり、日本では石破政権が誕生、アメリカではトランプ氏が大統領選挙に勝利した。いよいよ今年から始まるトランプ新政権の政策、特に貿易関税政策、対中規制の強化、移民問題などのほか環境・エネルギー政策については、これまでの政策から大きく転換することが予想される。とりわけ、「トランプ2.0」では、米国第一主義を掲げ、輸入関税の引き上げ等により自国産業を保護する、保護主義的な動きを強めると見られている。また、強い絶対的リーダーが率いる中国、ロシア、トルコのほか、欧州ではフランスやドイツ等で右翼系政党が勢力を拡大するなど、世界全体で協調型から保守・保護主義的な志向に変わりつつある。

国内では、浅尾環境大臣が年頭所感にて資源循環と脱炭素化の取り組みを一体的に促進していくことを述べている。そのポイントは、サーキュラーエコノミー推進で資源循環と成長の好循環を目指し、再資源化事業等高度化法の円滑な施行、太陽光パネルリサイクル制度の構築に向けた検討である。また、「2050年脱炭素」への着実な取り組みとして次期削減目標の策定と地球温暖化対策などであった。

そして、令和7年は4月に「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする大阪・関西万博が開幕した。また、コロナで1年延期された国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」が秋に県内で開催される。アスリートファーストを守りつつ、滋賀らしくという点では、琵琶湖が真ん中にあり、環境に配慮しながら持続可能な大会、マザーレイクゴールズ（Mother Lake Goals, MLGs）にマッチした大会を目指している。

このような環境下、令和7年度の協会の事業は、引き続き法令遵守に加え、多面的な視点から環境問題を取り上げ、必要な知識を学習・理解してもらうことを目的とした研修会、中央省庁から講師を招いての講演会、産学連携講座や講演会の共催や後援、森林整備ボランティア活動、企業見学会を通じて積極的に環境問題に取り組んでいる企業の体験型研修を企画し、環境に関わる人材育成に努める。昨年、実施した水質事故対応訓練講習会は担当エリアを湖東に変えて、会員企業や環境事務所の協力を得ながら継続できるように努めていく。また、プラスチックごみの発生抑制と資源循環の取組でのサーキュラーエコノミーの推進、生物多様性の見識を高めるために滋賀県の協力を得ながら研修会や広報等の機会を企画していきたい。

会員数も積極的な勧誘活動により増加し、会員数400先達成のため引き続き新規勧誘をお願いすると共に、協会会員間の情報交換がより活発に行えるプラットフォームの役割を担うためにも会員の皆様には各種イベントへのご協力、ご参加も併せてお願いしたい。

令和7年度も滋賀県琵琶湖環境部、総合企画部、商工労働観光部、大津市環境部、各大学等の関係団体との連携を深めながら、会員皆様の環境活動にお役に立てる様に努めていく。

最後に、本年の干支は「乙巳（きのとみ）」。これは、蛇が脱皮を繰り返しながら成長していく様子を表し、「変革を重ねながら新たな発展の段階へ進む」という意味が込められている。まさに、新たな滋賀県環境保全協会をスタートするにふさわしい一年としていきたい。

事業計画 委員会別

※文書内（ ）：事業仕分 （公）＝公益目的事業 （収）＝収益事業他 （法）＝法人管理別

《 総務広報委員会 》

1. (公)・広報誌「碧い湖」 年間2回発行 5月 第80号 11月 第81号
時宜を得た特集テーマをメインに掲載、新規会員企業の紹介他
会員企業の広告掲載(1回 税込 10,000円)
特集 ①直近の資源循環政策の動向について
環境省 大臣官房環境教育推進室 室長 黒部一隆氏
②成長志向型の資源自律経済の確立に向けた取組について
経済産業省 GXグループ資源循環経済課 専門職 梅村啓靖氏
広報誌「碧い湖」へ掲載 5月第80号予定
2. (公)・講演会 「世界湖沼の日(8月27日)について」
3. (公)・新春賀詞交歓会 新春特別講演会 賀詞交歓会
開催日：令和8年1月20日(火)
場 所：琵琶湖ホテル
4. (公)・滋賀県からの法令関連や表彰関連、大学からの講演会等の情報を随時メール配信
5. (公)・令和7年度環境美化運動(滋賀県他県内市町)へ協力団体として参画

《 企画委員会 》

1. (収)・表彰事業(滋賀県環境保全協会長表彰) 令和7年5月28日(水)
令和7年度定時社員総会終了後 場所 びわ湖大津プリンスホテル
個人・団体・企業別表彰後にプレゼンテーションを実施
2. (公)・森林整備ボランティア活動 (①②③共に雨天の場合は中止)
①開催日：令和7年10月18日(土)
場 所：朽木 森林公園くつきの森
②開催日：令和7年11月15日(土)
場 所：多賀 高取山ふれあい公園
③開催日：令和7年12月 6日(土)
場 所：栗東 こんぜの里
3. (公)・産学連携事業
立命館大学・龍谷大学・滋賀県立大学との連携事業継続
① 立命館大学 ・琵琶湖・環境イノベーション研究センターシンポジウム
(後援)
② 滋賀県立大学 ・8月～9月インターンシップ生1名程度受入予定
③ 龍谷大学 ・REC BIZ-NET 研究会との連携及び協力
公害防止管理者(水質関係)資格試験「事前受験対策講座」(後援)
開催日 ：令和7年6月後半から7月に予定
開催方法：ハイブリッド(対面+オンライン)開催を予定

4. (公)・「法・条例を学ぶ講習会」(後援：滋賀県・協力：大津市・共催：(公財)滋賀県環境事業公社)

「当協会の事業のメイン講座としての位置づけから上期実施の継続事業」

開催予定日: 6回シリーズ 9月10日・12日・17日・19日・24日・26日

場 所: コラボしが21 (ハイブリッド研修)

5. (公)・水質事故対応訓練講習会

湖東環境事務所との共催(初開催)

開催日: 令和7年11月28日予定

場 所: (株)SCREEN ホールディングス 彦根事業所

《 組織活性化委員会 》

1. (法)・会員増強…【 目標 400 先 】

会員 400 先を達成する

2. (法)・関西環境管理者交流会((公社)京都工業会・神戸地区環境保全連絡協議会・当協会)

幹 事: (公社)京都工業会

開催日: 令和7年10月22日(予定)

場 所: 京都府立植物園(予定)

3. (法)・企業見学会

開催日: 令和7年10月～11月(予定)

場 所: 未定

4. (公)・「地域別環境保全研修会」(共催: 滋賀県6環境事務所および大津市の合計7地域)

《目的》…「滋賀県環境事務所6ヵ所と大津市環境部環境政策課と連携」

- ・事業場立入調査の結果報告並びに法改正の情報提供

- ・環境への取組等の事例発表

地元企業の共通課題を解決するための研修会としての位置づけ

開催時期: 令和8年2月～3月